

旺文社 心地よい感動を呼ぶ名作。夏休みの読書に最適！

しょう た
『翔太の夏 秘密の山のカブトムシ』

～虫捕りもしたことがなかった都会の少年が、自然の中で「自分」を再発見していく物語～

教育出版社の株式会社旺文社（本社：東京都新宿区、代表取締役：赤尾 文夫）は、豊かな自然の中で友達との交流を描く『翔太の夏 秘密の山のカブトムシ』（対象：小学校高学年～）を2008年6月30日（月）に刊行いたします。



【出版概要】

書名：『翔太の夏 秘密の山のカブトムシ』

著者：作・那須 正幹（ナス マサモト）
挿絵・スカイエマ

発行：旺文社

体裁：A5判・上製 160ページ（4色×1色刷り）

価格：税込み 1,300円（本体 1,238円）

刊行：2008年6月30日（月）

対象：小学校高学年 以上

ISBN 978-4-01-069576-0

<http://www.obunsha.co.jp/shoshi/symphony/show/code/069576>

【あらすじ】

小学五年生の高橋翔太は東京から瀬戸内の田舎町に引っ越してきた。小学校の全校生徒はわずか50人。そこはこれまでの都会とはまったく違う、自然が豊かなまちだった。翔太はリーダー格の友だち・赤碕保に支えられ、学校のなかまと少しずつうちとけてゆく。初夏のある日、保が翔太をカブトムシ採りに誘った。毎年夏になると、カブトムシをたたかわせて一番をきめるのだという。しかし、ようやくつかまえた翔太のカブトムシはすぐに逃げ出してしまった。ほかのカブトムシも6年生の河村進の「ヘラクレスジュニア」にはかなわない。翔太たちはその「ヘラクレス」が見つかったという秘密の裏山に、巨大カブトムシを求めて夜の探検に出かける。そして、ついに今まで見たこともないカブトムシを手に入れたのだが、暗くなった山中で道に迷ってしまう…。

【本書の特色】

夏休みの読書に最適な一冊。

虫捕りもしたことがなかった都会の少年が、自然の中で自分を再発見し、友情を育みながら、たくましく成長していく様子を丁寧に描きます。心地よい感動をよぶ、夏休みにオススメの名作です。

2種類のカラーイラストで構成された、豪華な体裁。

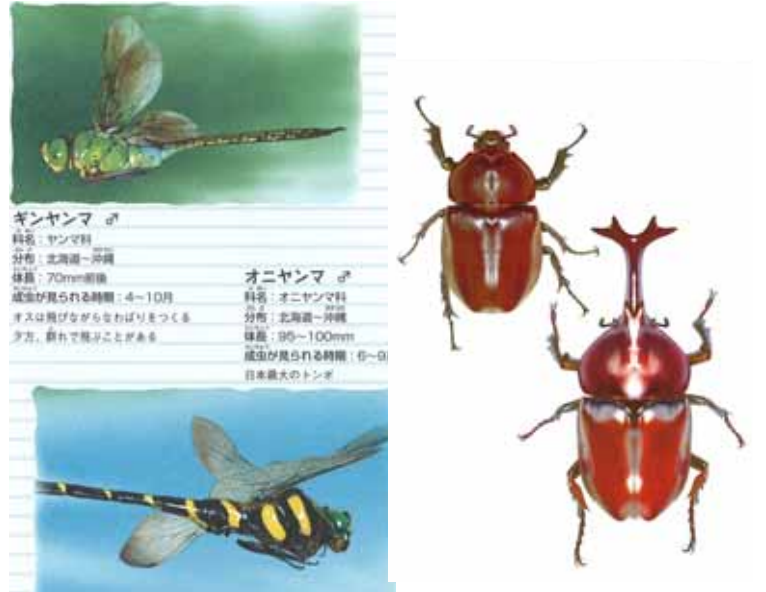
挿絵：現代的な作風が評判の、新鋭イラストレーター・スカイエマ氏を起用。

昆虫細密画：昆虫図鑑なども手がける、今井桂三氏の本格的な昆虫画。

～ ヘラクレスオオカブト、カブトムシ(卵・さなぎ・成虫)、スズメバチ、ゲンジボタル、ギンヤンマなど ～



スカイエマ氏イラスト



今井桂三氏イラスト

【著者紹介】

作・那須正幹 (ナス マサモト) :

1942年、広島に生まれる。島根農科大学林学科卒業後、文筆生活にはいる。主な作品に1978年発表の『それいけズッコケ三人組』をはじめとする「ズッコケ三人組」シリーズ(巖谷小波賞)があるほか『ねんどの神さま』『さぎ師たちの空』(路傍の石文学賞)、『ヨースケくん』『お江戸の百太郎』シリーズ(日本児童文学者協会賞)『絵で読む広島の原爆』など多数。

挿絵・スカイエマ :

東京都生まれ。クールで現代的なイラストで人気上昇中のイラストレーター。挿絵に『マキの廃墟伝説』(理論社)、『幻狼神異記』(ポプラ社)など、文庫の装画も多数。

【会社概要】

社 名：株式会社 旺文社
代 表 者：代表取締役社長 赤尾 文夫
設 立：1931年10月1日
本 社：〒162-8680 東京都新宿区横寺町 55 TEL:03-3266-6400
事 業 内 容：教育・情報をメインとした総合出版と事業
U R L：<http://www.obunsha.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社旺文社 広報担当：三澤・山縣
TEL:03-3266-6292 FAX:03-3266-6045 E-mail：pr@obunsha.co.jp